

## 議第16号議案

### 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成29年9月21日提出

提出者	新座市議会議員	石島陽子
賛成者	〃	笠原進
	〃	亀田博子
	〃	高邑朋矢
	〃	平松大佑
	〃	塩田和久

### 提案理由

核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することを求めるため、この案を提出する。

## 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

人類史上初めて広島・長崎に原子爆弾が投下され、爆発による強烈な熱線、爆風、人体を貫く放射線は一瞬でまちを破壊させ、多くの人々の命を奪った。

あれから72年を経た今年7月7日、「悪魔の兵器」を初めて違法とする「核兵器禁止条約」が国連会議において国連加盟国の約3分の2に相当する122か国の賛成で採択された。同条約は、被爆者と世界の人々が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。

条約は、核兵器について国連憲章、国際人権法に反するものであると断罪するとともに、開発、実験、製造、取得、保有、使用だけでなく、核兵器による威嚇も禁じている画期的なものである。同時に、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記され、被爆国、被害国の国民の切望にも応えるものとなっている。

広島・長崎の惨状ほど、人間を破壊する核兵器の残虐性、非人道性を伝えるものはない。被爆者は、すさまじい被爆の体験を世界に向かって長年発信してきた。この活動がついに多くの国の政府の代表者を動かし、人類史上初めての「核兵器禁止条約」の採択に結実したものである。

唯一の被爆国である日本政府が、禁止条約の署名を拒み続けていることは世界の流れに逆行するものであり、被爆者を始め国民の間に失望と憤り、批判を広げている。

よって日本政府は、核兵器禁止条約に一日も早く署名・批准し、「核兵器のない世界」の実現へ積極的な役割を果たすよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様  
外務大臣 様